

報道資料

発表日:平成24年2月2日(木)
所 属:総務部知事公室防災統括室
防災企画係(川田、宮崎)
電 話:0742-27-8425(直通)
内 線:2274

平成23年度 第2回市町村災害対応研修会の開催について

1. 研修会の目的

紀伊半島大水害や東日本大震災等、各種の自然災害はいつでもどこでも起こり得るということを改めて認識させられているところである。

そこで、県内市町村職員等の災害対応等にかかる意識と知識の向上を図るための研修会を開催し、災害発生時に迅速かつ確な対応を行う一助とする。

2. 第2回テーマ「避難のあり方と防災教育について」

災害時において、適切な避難行動を実現するためには、住民自らの適切な判断が必要である。この判断を支える重要なきっかけは、発災時の市町村長による避難勧告等の発令や、平常時からの住民への防災教育等である。

そこで、内閣府「災害時の避難に関する専門調査会」での議論や東日本大震災における学校現場の避難事例等から、住民避難のあり方や防災教育の重要性について学ぶ。

3. 日 時

平成24年2月10日(金) 13時30分～16時30分(受付:13時10分～)

4. 場 所

奈良県中小企業会館 4階大会議室(奈良市登大路町38-1)

5. 内 容

- 報告 台風12号災害の対応について(市町村からの事例報告)
- 講演 「想定を超える災害にどう備えるか」
講師:群馬大学大学院教授 片田 敏孝 氏(プロフィールは別紙のとおり)
- 意見交換・質疑応答 等

6. 参加者

・市町村職員(防災担当等)、消防職員、学校教職員、市町村教育委員会関係者 等

7. その他

- ・気象警報の発表等があった場合は中止することがあります。
- ・今年度の第1回研修会は「災害対策本部の機能」をテーマに11月8日開催済です。

片田敏孝 教授 プロフィール

群馬大学広域首都圏防災研究センター長

群馬大学大学院工学研究科 教授

平成2年：豊橋技術科学大学大学院博士課程修了

平成2年：東海総合研究所 研究員

平成3年：岐阜大学工学部土木工学科 助手

平成5年：名古屋商科大学商学部 専任講師

平成7年：群馬大学工学部建設工学科 講師

平成9年：群馬大学工学部建設工学科 助教授

平成17年：群馬大学工学部建設工学科 教授

平成19年：群馬大学大学院工学研究科

社会環境デザイン工学専攻 教授（所属名称変更）

平成22年：広域首都圏防災研究センター センター長

平成22年：東京大学大学院、豊橋技術科学大学、静岡大学 客員教授

この間、

平成12年4月～平成13年9月 京都大学防災研究所 客員助教授

平成13年4月～平成14年3月 米国ワシントン大学 客員研究員



■委員会・審議会等

- ・内閣府中央防災会議「災害時の避難に関する専門調査会」委員
- ・総務省消防庁「消防審議会」委員
- ・気象庁「東北地方太平洋沖地震による津波被害を踏まえた津波警報改善に向けた勉強会」委員
- ・文部科学省「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理に関する有識者会議」委員
- ・国土交通省「今後の土砂災害対策を考える会」委員

ほか多数

■受賞歴

平成12年度 横山科学技術賞 「自然災害への社会的対応に関する総合的研究」

平成12年度 日本自然災害学会学術賞

「河川洪水時の避難行動における洪水経験の影響構造に関する研究」

平成14年度 国際自然災害学会賞（2002 Mohammed El-Sabh Award）受賞

「An Estimation Method of Human Damage Due to Tsunami Inundation Flow」

平成14年度 土木学会論文賞

「河川洪水に対する住民の災害情報理解と避難行動に関する総合的研究（総合題目）」

平成19年度 平成19年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞

「津波総合シナリオシミュレータを用いた津波防災の理解増進」

平成23年度 日本教育再興連盟賞：釜石市における津波防災教育

平成23年度 日本災害情報学会 廣井賞 学術的功績分野：防災・減災研究に基づく実践的防災教育

専門は災害社会工学。

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に、釜石市においては、平成16年から児童・生徒を中心とした津波防災教育に取り組んでおり、地域の災害文化としての災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の定着を図ってきた。

また、内閣府中央防災会議をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。主な学会活動として、日本災害情報学会理事、日本自然災害学会理事がある。